

教科(科目)	福祉(生活支援技術)	実施学年 (履修規定)	第2学年 必修
単位数	3単位	教科書	
		副教材	最新介護学全書6 生活支援技術Ⅰ 最新介護学全書7 生活支援技術Ⅱ
科目の目標	自立を尊重した生活を支援するための介護の役割を理解させ、基礎的な介護の知識と技術を習得させるとともに、様々な介護場面において適切かつ安全に支援できる能力と態度を育てる。		
目標達成に向けての取組	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身が利用者役・介護者役になることで、利用者との人間関係について理解し基礎的なコミュニケーション能力の育成を図る。 ・「こころとからだのしくみ」の授業と連動させ、科学的な知識の裏付けによる支援の必要性や方法を理解する。 ・利用者の生活や個性、尊厳を踏まえた生活の自立について理解し、それに必要な実際的な支援の方法が提供できるよう考える能力を養う。 		

◇ 進度

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
4	オリエンテーション 入浴・清潔保持の介護	2年次の授業内容と授業の進め方 実習時の確認事項 入浴・清潔保持の意義と目的 入浴・清潔保持における介護技術	シラバス プリント確認 レポート確認 行動観察 自己評価	・2年次の生活支援技術について学習すべき内容がイメージできている。
5		教師による模範を見学の後、班別実習の実施 入浴 機械浴 一般浴 シャワー浴	プリント確認 レポート確認 行動観察 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の模範を見学しイメージをつかむことができる。 ・設備の使用手法、必要物品の名称を覚えている。 ・基本的な操作が習得できている。 ・班内で協力できている。 ・利用者にあった物品が準備できている。 ・利用者の安全、安楽やプライバシー配慮した行動がとれている。 ・必要物品の名称を覚えている。
中間考査				
6		全身清拭 陰部洗浄 足浴 手浴 洗髪	実技練習観察 レポート確認 自己評価 確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な操作が習得できている。 ・班内で協力できている。 ・利用者の安全、安楽を第1に行動できている。
7		口腔の清潔 歯磨き 口腔清拭 介護実習事前実技テスト	実技練習観察 実技テスト レポート確認 自己評価 確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の希望を尊重し、適切な行動がとれている。 ・手順を正しく理解し、利用者が自立できるような支援を提供できている。
期末考査				
	介護実習	基礎実習Ⅱ		

月	単 元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
8	夏季休業 介護実習	基礎実習Ⅱ		
9	介護実習	基礎実習Ⅱ		
10	終末期の介護	終末期における介護の意義と目的 終末期における介護 アセスメントの視点 バイタルサイン 体温 脈拍 血圧 呼吸 意識	実技練習観察 レポート確認 自己評価 確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> 終末期の意味を学び、ケアの考え方を理解できる。 終末期における介護の役割を理解できる。 終末期の状態をバイタルサインの観察を通し理解できる。 正確に正しく測定できる。 利用者自身及び介護者の負担を最小限にできている。
中間考査				
11	緊急時の対応 応急処置・緊急時対応の実際	想定される事故と予防の視点 緊急時の連携 応急処置の実際 圧迫止血 骨折の手当て 誤嚥時の処置 熱傷の処置	実技練習観察 実技テスト レポート確認 自己評価 確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の起こりやすい主な事故とその予防の実際を理解できる。 応急処置のポイントを習得できる。
12		一次救命処置 心配蘇生法 AED		<ul style="list-style-type: none"> 一次救命処置の手順と方法を理解し実践できる。
期末考査				
1	医療依存度の高い高齢者のケア	浣腸 ストーマ	DVD視聴 レポート確認 確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> 介護実習を踏まえて、さまざまな利用者に対応できる知識を習得する。 それぞれの処置についてイメージでき、利用者の安全、安楽のために何ができるか考えることができる。
2		導尿 吸引		
3		吸入 経管栄養		
学年末考査				

評価の観点及び趣旨

①関心・意欲・態度

生活支援における課題について関心を持ち、利用者の生活の自立を目指して意欲的に学習に取り組むとともに、課題解決のための実践的な態度を身につけている。

②思考・判断

介護に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して、適切に判断し創意工夫する能力を身につけている。

③技能・表現

介護分野における基礎的・基本的な技術を身につけ、実際の支援内容を合理的に計画し、適切に実践するとともに、その成果を的確に表現する。

④知識・理解

生活支援、介護における基礎的・基本的な知識を身につけ、生活支援技術の意義や役割を理解している。

「生活支援技術」の総合評価における各観点の割合

① 関心・意欲・態度	20	%程度	②思考・判断	20	%程度
③ 技能・表現	30	%程度	④知識・理解	30	%程度